

11月23日、現在の景観まちづくりの取り組み状況の報告と、町民の皆さんから景観施策に対するご意見を直接いただくことを目的に、景観フォーラムを開催し、「街並み（景観）づくり100年運動の経緯と成果」と題し、金山街並み景観審議会専門委員である、林寛治氏、片山和俊氏から講話をいただきました。

また、岸健太氏（秋田公立美術大学大学院教授）をファシリテーターとし、「町民参加の街並み景観づくり」「若い世代に繋がっていききたい風景」をテーマにディスカッションを行いました。若い世代に取り入れられる「金山住宅」や維持管理に対する事、景観を阻害している空き家に対する検討や、利活用を目的とした事業や支援方法等の意見が出されました。

最後に阿部千晶実行委員長が「皆さんの気持ちやご意見



▶役場町民ホールにおいて開催された景観フォーラムには約30名が参加した



▶冬の参道を描いた作品

11月19日、石山徹さん（天童市在住）から、実父の石山実氏作の絵画を寄贈いただきました。

寄贈いただいた絵画は「冬の参道」と「樹叢霧情」の2点。どちらもキャンバスが150センチメートルを超える絵画で、冬の参道と草木が生い茂った夏の風景を

繊細に描いたものとなっています。石山氏は、山形県内の営林署に勤務し、定年退職の数年前から本格的に洋画に取り組み、総合美術展である、日展で多数入選された経歴をお持ちの方です。

寄贈いただいた絵画は今後町内の公共施設に展示していく予定です。

これから街並み景観づくりを考える 景観フォーラムを開催しました

11月23日、現在の景観まちづくりの取り組み状況の報告と、町民の皆さんから景観施策に対するご意見を直接いただくことを目的に、景観フォーラムを開催し、「街並み（景観）づくり100年運動の経緯と成果」と題し、金山街並み景観審議会専門委員である、林寛治氏、片山和俊氏から講話をいただきました。

また、岸健太氏（秋田公立美術大学大学院教授）をファシリテーターとし、「町民参加の街並み景観づくり」「若い世代に繋がっていききたい風景」をテーマにディスカッションを行いました。若い世代に取り入れられる「金山住宅」や維持管理に対する事、景観を阻害している空き家に対する検討や、利活用を目的とした事業や支援方法等の意見が出されました。

最後に阿部千晶実行委員長が「皆さんの気持ちやご意見

をいただきながら、目的を明確にし、基本を忘れずに良いまちづくりを進めていきたい」と述べました。

幅広く町民の方々との意見交換を行っていくため、フォーラムは来年度以降も開催を予定しています。今回いただいた意見を今後の参考とさせていただきますながら、これからの街並み景観づくりにつながっていくよう努めていきます。

除雪班の安全祈願祭を執行 町道の除雪は任せあれ

除雪班安全祈願祭が12月1日、町除雪センター（朴山）で行われ、除雪隊17名と町関係者がシーズン中の作業の安全を祈願しました。

須藤謙班長（櫓台）が「除雪作業の重要性を充分認識し、安全で安心な道路環境を確保するため体調管理に留意し、交通規則を遵守し



▶17名の除雪作業員が、丁寧な除雪を行います

て作業に努める」と意気込みを語りました。続けて佐藤町長が「報告・連絡・相談を大切にし、環境整備課との連携を図りながら、安全で事故の無いように作業に取り組んでほしい」と激励しました。除雪作業に対するご理解とご協力をお願いします。

絵画2点を町に寄贈 今後公共施設等に展示予定

11月19日、石山徹さん（天童市在住）から、実父の石山実氏作の絵画を寄贈いただきました。

寄贈いただいた絵画は「冬の参道」と「樹叢霧情」の2点。どちらもキャンバスが150センチメートルを超える絵画で、冬の参道と草木が生い茂った夏の風景を

繊細に描いたものとなっています。石山氏は、山形県内の営林署に勤務し、定年退職の数年前から本格的に洋画に取り組み、総合美術展である、日展で多数入選された経歴をお持ちの方です。

寄贈いただいた絵画は今後町内の公共施設に展示していく予定です。

神室スキー場営業に向け安全祈願祭 皆さんのご利用をお待ちしています

12月12日、グリーンバレー神室スキー場において、今季の安全なスキー場運営のため、安全祈願祭を執行了いました。リフトを降りるとグリーンバレーの美しいロケーションが広がり、緩急のあるコースは初心者から上級者まで楽しむことができます。

今シーズンも毎月第2土曜日のスキーズどもの日や毎週金曜日のレディースデー、そしてホテルシェーネスハイム金山に宿泊された方にはスキー場のリフトが割引になるキャンペーンなどお得なイベントを開催予定です。皆さんのご来場をお待ちしております。



▶神室スキー場関係者や有屋地域区長が参加し安全祈願祭が行われた

東北中央自動車道の一部である「泉田道路（8.2km）」が11月20日に開通しました。

この開通により、新庄市昭和地区に設けられた新庄真室川IC以南の全線が開通し、高速道路が首都圏まで繋がりました。泉田道路は片側1車線の無料区間で、双方向に約1キロの追い越し車線があります。冬期間の国道13号の混雑緩和が図られ、往來の利便性・安全性の向上が期待されます。

開通日当日は、石井浩郎国土交通副大臣出席のもと、新庄真室川ICで開通式が執り行われ、テープカット・くす玉開披の後、警察車両が先導する形でパレードが行われました。その後、新庄・湯沢地域間高規格幹線道路建設促進同盟会（会長・金山町長）主催による開通記念祝賀会が執り行われ、最上地域が首都圏と直結した歴史的節目となる開通をお祝いしました。



▶爽やかな秋晴れのもと、テープカットなどの開通式が行われた



▶無料点検ボランティアを実施した業者の皆さん

11月23日、金山町上下水道工事指定業者の皆さんが、町内の一人暮らし高齢者約190世帯を訪問し、蛇口の無料点検を行いました。これは、これから厳しい冬を迎える前に水道の点検を行い不安なく過ごしてほしいとの思いから始まったもので今年度で5回目になります。

奉仕活動に参加したのは、町内7業者（日本衛生工事（株）新庄営業所、小林水道工事店、（有）永山設備、金山農業協同組合、（株）丸和建设工務店、越尾設備、今田住設）。点検をしてもらった高齢者は「気になっていたところを無料でみてもらえてありがたい」と感謝していました。

安心して水道を使ってほしいと 蛇口の無料点検を実施

ついに「泉田道路」開通！ 東北中央自動車道がもっと身近に

令和7年度には、「新庄金山道路」が開通予定です。現在、開通に向けて着実に工事を進めています。地域活性化のためには欠かせない高規格道路。目的地までの移動時間が読め、より短時間で移動できるようになります。今後も、事業区間の早期完成に向け、取り組んでまいりますので、皆様のご理解をお願いします。